

TOKYO
BOOK
CLUB

高知の女性民権活動家、
楠瀬喜多。詳しく知り
たい方は「著者は語る」
欄へ！



読書会主宰

栗原淳

東京本社
文化芸能部員

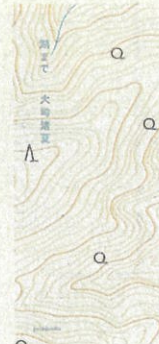
私も、編集やデザインを自分で
アプリ等で行い、ネットで発注
して印刷し、文学フリマで売っ
ています。



は、t-bunka@chunichi.co.jp へ



小学館
1650円



palmbooks
2200円

正成の遺児が見た夢

理流 (時代小説サイト運営者)

今村翔吾 著



終わりの見えない南北朝
の対立。軍神・楠木正成の
嫡男、多聞丸(後の正行)
は、「忠義とは何か」に悩
みながらも、ひとつの結論
に至る。だが、父亡き後、
英傑の妻という誇りを支え
に子どもたちを育ててきた
母に、その思いをどう伝え
るか、葛藤を抱えていた。

夜ごと、母とともに父の
戦の歩みを回想し、湊川の
戦いの直前に父から託され
た言葉を語る。その言葉に
導かれるように、「北朝に

場合もあり、大きな書店にないこと
もある。「文学フリマ」は、希少な本
と出合える、貴重な場だ。
文学とは、テキストのことではな
い。生活に密着した制作、手仕事での
デザイン、小さな売り方、読者とのほ
のかな出会い、そういった「読者への
届け方」を追求する行動や交流のすべ
てが、文学なのかもしれない。

(作家)

毎月1回掲載の週替わり企画
欄です。
来週はニュースな本です。

花よ、(上)②

降る」という決意を明か
す。戦をもっと早く終わ
らせる道だと信じて。
北朝との和議を目指し、
楠木一族が心をひとつにす
る中で、多聞丸は囚われた
仲間を救うため、凶悪な悪
党と戦い、北朝方の高師直
の手勢に襲われた南朝の女
官・弁内侍を助ける。激動
の時代を生きた若者の、冒

新書・文庫

●『働くことの小さな革命』
工藤律子著 資本主義に限
界を感じ始めた世界で、次
世代の経済を創ろうという
動きが起きている。利潤や
成長を追求し続けるのでは
なく、社会的利益のために
人と環境を軸につながら

●『内務省』内務省研究会
編 戦後すぐまで存続した
内務省は、現在の警察庁、
総務省、国土交通省などの
業務を担う巨大官庁だっ
た。明治初期、内務省のト
ップを伊藤博文が、大蔵省
のトップを大隈重信が致

特選

●絵本とは何か 起源から表現の可能性まで 松本猛 著

著者は、温かい空気をま
とった子どもの絵で知られ
た絵本画家、いわさきちひ
ろの長男。50年余り絵本に
携わってきた美術・絵本評
論家だ。表現方法や、名作
の分析、古代エジプトの
「死者の書」に始まる歴史な
ど、絵本に関して多彩な切
り口でまとめたのが本書。

絵本とは何か

松本猛



岩波書店
2750円

取り上げた国内外の絵本は
実に約200冊にのぼる。

強調されているのは、絵
本は子どもだけのものでな
く、大人にも価値ある豊か
な文化であるということ。
ジェンダーや震災、老いと
死など最近の絵本のテーマ
の幅広さを記し、その主張
に説得力をもたせた。(幸)

●『裸のネアンデルタール人 人間とい
う存在を解き明かす』リュドヴィック・
スリマック著 ホモ・サピエンスと呼ば

●『法が招いた政治不信 裏金・検察不
祥事・SNS選挙問題の核心』郷原信郎
著 さまざまな案件に発言し続ける元検